

ロシア国内でも 侵略に抗議の声

当局1600人以上拘束

【モスクワ＝ロイター】

ロシア国内で24日、ウクライナ侵攻に抗議した1600人以上が警察に拘束されました。ロシア政府は「誤った情報」が含まれているとして、メディア報道の制限をあらわづかせています。

オランダでは、オンライン上では侵攻に対する抗議行動を呼び掛けました。一方で、ロシアのポップスターやジャーナリスト、テレビメディア、サッカー選手が慎重ながら異例の異議申し立てを行っています。

ロシアの人権監視活動「OVDインフォ」による動画によると、同日夜までに国内53都

市で集会が開かれ、1667人が拘束されました。治安当局は抗議行動を呼び掛けたり、参加したりするのを犯罪で投獄されると警告していました。

モスクワやサンクトペテルブルク、エカテリンブルクなどではそれぞれ数百人が参集。「戦争に反対」といったスローガンを繰り返して、即席のフラカードを掲げました。ウクライナの国旗を振る人もいました。

モスクワの警察は600人を拘束したと発表。同市では新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)を理由に、いかなる抗議行動も禁止されています。

反体制活動家アレクセイ・ナワリヌイ氏は獄中から今回の戦争を非難。クレムリン(ロシア政府)は貧困などの国内問題から関心を失うとしていると訴えました。

ロシアの著名なテレビコメディアンの一人、イバン・アーガント氏はインスタグラムに「恐怖と苦痛、戦争に反対」と書き込みました。テレビ司会者で歌手のマクシム・ガルキン氏は「なぜこんなことが起きるのか。正当化できる戦争などない。戦争に反対」と表明しました。

サッカー・ロシア代表選手のフョードル・スマロフ氏やチニスの同国元トップ選手のエフゲニー・カフュルコフ氏、昨年のノーベル平和賞受賞者、ロシア経済学者のドミトリー・ムラトフ氏も反対を表明しました。

2021年のノーベル平和賞受賞者で、ロシアの独立系紙「ノーバヤ・ガゼータ」編集長ドミトリー・ムラトフ氏は24日、「ーチン大統領の命令によるウクライナ侵攻について」「(政権内に) 戦争を止める人は誰もない。だからこそ、われわれは悲しみと共に恥を感じている」と心境を語りました。

53都市で集会 著名人からも異例の異議

ムラトフ氏は同紙サイト上の声明で、「最高司令官(フーチン氏)は手の中で、高級車のキーホルターのように核のボタンを回している」と痛烈に批判。核戦争の恐れがあるとした上で、「ロシア人の反戦運動だけが、この惑星上の命を守れる」とできる「反対」、ウクライナ侵攻に反対するよう呼び掛けました。